



# 歩いてみませんか！ 名石浜緑地公園完成

4月1日、名石浜工業団地内の緑地帯に、名石浜緑地公園が完成しました。

この公園は、熊本県の事業により、幅約40m、長さ1,300mの緑地帯の中を、散歩用のゴムチップ舗装を行い、地域住民がくつろぐ場、健康増進を図る場として整備されたものです。ぜひ、ご利用ください。

4月1日、名石浜工業団地内の緑地帯に、名石浜緑地公園が完成しました。この公園は、熊本県の事業により、幅約40m、長さ1,300mの緑地帯の中を、散歩用のゴムチップ舗装を行い、地域住民がくつろぐ場、健康増進を図る場として整備されたものです。ぜひ、ご利用ください。

 広報

# ながさ

4 / 15

1999(平成11年)No.663

お知らせ版



# 心ふれあひ豊かな町

## 住民が真に豊かさを

### 実感できるまちづくり

長洲町長 橋本孝明

今年、町政三年目を迎えた橋本孝明町長は、先の三月定例議会において、「対話による行政」を町政の姿勢とした、平成十一年度の施政方針を表明しました。  
ここにその施政方針を掲載します。

平成十一年第一回定例会にあり、私の施政の方針を明らかにし、議員各位の深いご理解と町民の皆様のご支援とご協力をお願いするとともに、決意をあらたに「心ふれあひ豊かな町・住民が真に豊かさを実感できるまちづくり」の実現のため、職員と一丸となって邁進していく所存であります。

### 昨年の町内情勢

昨年を一言で言えば、ハード事業から町民の視点に立ち、生活に密着した課題への取り組みを重視した、ソフト政策への転換を図った一年でありました。

### 行・財政改革

近年、本町においては社会資本の充実のため巨額を投資して、二大事業を完成させ、下水道をはじめとする生活基盤は整備充実してまいりました。

長引く経済不況で、政府が実施した恒久減税に加え町税の主要財源である法人税取の伸び悩み、また地方交付税の確保も厳しい状況であります。一方、施設の管理運営費等が増加するなど前年度と同様、財政状況は厳しいものがあります。

このため、平成十一年度の予算編成についてはその年度の歳出は、その年度の歳入の範囲内という基本的な考え方にたち、より健全化を進めていくことはもちろん経常経費の削減に努め、住民福祉の向上をめざす重点施策への財源確保を最優先し、限られた貴重な財源が住民生活に効率的、効果的に反映できるよう努めてまいります。

本格的な少子・高齢社会の到来、国際的な経済競争や急速な情報化の進展など、社会経済情勢は大きく変化しています。

国の地方分権の推進をはじめ、行政システムの改革は多くの地方自治体で今日的行政環境を

私は、町長に就任して以来一貫して「対話による行政」を町政の姿勢として「心ふれあひ豊かな町・住民が真に豊かさを実感できるまちづくり」に取り組んできました。この間、本町を取り巻く状況の変化や動向を的確に捉え、町の活性化に向け奔走してまいりました。

お陰をもちまして、行政全般にわたり数々の成果を見る事ができました。これはひとえに、議員各位はじめ、町民の皆様のご理解とご協力によるものと心から感謝申し上げます。

主なものとして、  
・財政改革と健全な財政運営を推進するセクションとして、財政課の新設

確に捉え、地域に応じた取り組みがなされています。

本町においても、このような国の動きを視野に入れ、昨年度機構改革を実施いたしました。本年度も組織の整備、職員の適正配置を行い、より一層住民の皆様によりやすい行政運営に努めてまいることいたしました。

また、住民のニーズに的確に、素早く対応していくためには、行政に携わっている職員の資質向上と能力の開発が重要であります。絶えず新しい視点で現状

### 住民参加による町政の推進

明治以来、我が国の中央集権的システムは、先進諸国の仲間入りを果たす高度成長をもたらすなど、今日の発展に極めて有効な役割を果たしてきました。

しかしながら、社会資本の整備充実や余暇時間の増大に伴い、住民のライフスタイルは多様化しております。また、行政サービスに対する住民のニーズも多種多様化し、的確に対応したサービスが求められています。これまでの、全国画一の基準から、地域の実状に応じた弾力的行政運営が「中央から地方へ」「集中か

今日の行政環境に的確に対応できる職員の育成と資質の向上、熊本県とのパイプ役として県職員出身の助役選任  
・広く行政の情報を公開する情報公開条例の制定に向けての準備と、複雑・高度化する監査業務の充実のための、監査委員事務局の設置

「対話の町政」と住民参加によるまちづくりを推進するための、町づくり推進係の新設とふれあひ箱の設置

平成十二年度からの介護保険への準備とスムーズな運営に向けて、高齢福祉・介護保険係の新設  
・子育てニーズに即応した子育て支援を充実・強化するため、

を把握し、将来への明確なビジョンを持ち、計画的かつ行動力のある「職員づくり」をめざし職員研修に取り組みます。

さらに、現在の高度情報化社会に対応するため、また、本町における「情報ネットワーク型の社会」を構築するため、本年度地域情報センターとのLAN構築に取り組み、情報機器の有効活用による住民サービスや情報の提供の向上に努め、行政の一層の効率化、迅速化を図ってまいります。

ら分散へ」と地方に自己決定権の拡充と自己責任を与える、地方分権社会の到来が間近かに迫

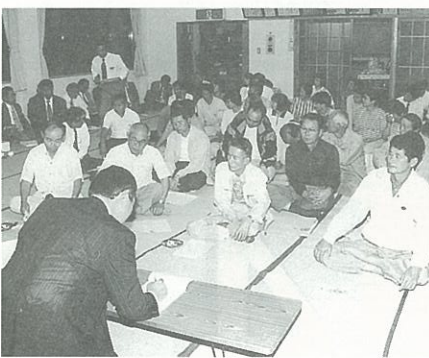


公園づくりに取り組む永方区

### 保育課の新設

この中で、私の公約の一つであります「対話による町政の実践」「住民参加によるまちづくり」の一創運動に着手することができました。これもひとえに、町民の皆様のご理解と温かいご支援の賜物と、心から御礼を申し上げます。

この一区一創運動は、地域コミュニティの再構築と住民自治意識の確立をめざし、「行政がすること」「住民ができること」といった役割分担の理解を深める運動でございます。第一回目の座談会を終え現在、各行政区からの要請を受け、一区一創運動の説明会と座談会を行っており、これまでに十四区が開催し、平成十年度内にあと二区、開催の予定でございます。



昨年町内九ヶ所で開催された座談会



▲ 出町区で行われたワークショップ

ついているところであります。

地方自治の主役が何よりも「住民」であることを再確認し、「住民と行政の協働」という新しい関係を構築すべく、「住民参加によるまちづくり」に昨年より取り組んでおります。

「一区一創運動」の推進は、私の「対話の行政」における最重要施策であり、地域コミュニティの促進と住民自治意識を確立できるものと確信いたしております。

郷土愛を育てる「一区一創運動」を、二十九区すべての区が、積極的に取り組んでいただくよう今後も積極的に展開してまいります。

また、「住民と行政の協働」という新しい関係を理解していただくために、広く行政の情報を公開していかなければならないと考えております。

情報公開条例の制定については、

複雑・高度化する行政ニーズに対応するには、行政の一方通行では不十分であると思えます。行政と住民がじっくり膝を交え、話し合い、その中から住民の自治参加意識を盛り上げていくことがこれからの行政推進に欠かせないと考えます。今後も引き続き「対話の町政」は、継続してまいります。

本町の基幹企業であります、日立造船(株)有明工場及び新機械工場、九州不二サッシ(株)、トステム(株)九州統轄工場におかれましては、極めて厳しい景況の中にあつて、必死の努力を続けていただいております。しかし、長引く景気低迷は、町内企業へ影響を及ぼしており、一日も早い景気回復を期待しているところであります。

商業関係につきましては、個人消費の低迷による影響等依然として厳しい情勢が続いているところであります。国の緊急経済対策の一環である地域振興券交付事業を、本町商業活性化の起爆剤にしたいと考えております。

私は、以上のような環境の中で、来るべき二十一世紀に向かって輝かしく躍進するまちづくりの推進に全精力を傾注するものであります。

平成十二年度中の制定を目標に、情報公開制度の確立に努力いたします。情報公開に向け、まずは、文書管理の整備充実が必要不可欠であり、全職員が情報公開制度に対する認識を深め、そのための職員研修を計画的に実施することにしております。

情報公開条例の制定につきましては、庁内に検討委員会を設置し、条例の素案づくりに着手し、慎重に検討を重ね、そして、住民代表による懇話会も設け、広く意見を聴取し、地方分権社会にふさわしい本町の情報公開条例の制定に努力いたす所存であります。

### 総合振興計画の策定

新しい時代への変革の波は、本町にもいろいろな影響を与えています。また、時代の推移により行政に対する住民の要望も多様化、高度化し、質的にも量的にも大きく変化しております。

総合振興計画は、行政と住民が共有するまちづくりの憲法、羅針盤と言えるものであり、行政はもとより住民を含めた、まちづくりにかかわるあらゆる行動のよりどころとなるものです。本町においては、平成三年度か



平成十二年年度までの第三次長洲町総合振興計画により事業を展開しております。

社会経済情勢の進展に即応した、新たな展望に立つて長期的な政策の総合的かつ計画的な基本構想と行政運営のあり方を取りまとめ、第四次長洲町総合振興計画の策定に本年度から着手いたします。

策定にあたっては、行政と住民が一体となり「心ふれあう豊かな町・住民が真に豊かさを実感できるまちづくり」を体系化、具体化し、長洲町がめざす将来を描く総合振興計画の策定に努めてまいります。議員各位をはじめ町民の皆様のご協力をお願いいたします。

## 健康と福祉の充実

次に、町民の健康づくりについてでございます。

健康づくりにつきましては、本年度健康づくり推進協議会を再編成し、老人保健事業、母子保健事業、介護保険事業、国民健康保険事業の各分野にわたり実施するとともに、老人保健事業と同様な健診を、老人保健事業対象外年齢の四十歳未満の方を対象に引き続き実施してまいります。

住民の方々が最も関心のある介護サービスの認定範囲でございますが、高齢福祉事業を賄っております老人福祉法と、介護保険事業を賄います介護保険法との法律の違いで、認定内容が異なる認定外になられる方々が生まれる可能性がございます。

この認定外の方々の支援は、国からの支援がなくなることから、町単独での支援方法について検討しております。

介護保健事業は、「法」により介護・支援者を支えますが、本町としては「人」として住民全体を対象とし、介護保険対象者は介護保険から、認定外の方は町独自の支援方法により支える考えで準備を行ってまいります。

このように転換期を迎え、住



笑顔で長生き

保健事業につきましては、国の財政政策の変更により母子保健事業においては平成九年度から老人保健事業においては平成十年度から、一般財源へ切り替わり、交付税措置の取扱となり財源の圧縮がなされました。町といたしましては、老人保健事業は住民の健康を確認し、健康生活を

守ることを目的に、健康づくりを最優先課題に位置付け早期発見・早期治療の健康事業を中心に健康教育、健康相談、健康診査を推進し、健診後の訪問指導の範囲を拡大してまいります。

母子保健事業につきましては、乳幼児健診はもとより妊娠期間における健診も実施しております。特に昨今は、核家族率が高くなつており、子育ての経験のない母親に対する子育て教室を中心に、子育ての不安の解消のためのサークルやグループ活動の中で、適切な指導と相互間のコミュニケーションを図り、心の安定に努めてまいります。

また、妊婦の歯科健診による健康づくりも取り入れ、妊娠期間における健康管理に結び付けようと考えております。

予防事業につきましては、乳幼児期からの予防としての抗体接種はもとより、結核予防法に基づき結核検診は義務付けられ

民の要望に応え、着手可能なものから取り組み、満足いただけよう努力してまいります。

次に、福祉の充実についてでございます。

今日、社会福祉に対する住民の意識も大きく変化し、少子・高齢化の進展、家庭機能の変化、障害者の自立と社会参加の進展に伴い、社会福祉制度につきましても、新たな枠組みを作り上げていく必要があります。また、地方分権が叫ばれる中、市町村が中心になり、その地域の独自性にあつた住民参加の地域福祉の進展が期待されております。

このため本町では、社会福祉協議会を整備・充実しながら、社会福祉協議会とおして地域社会において自主的な福祉活動の中核として、住民の皆様が参加する福祉活動を推進いたします。

また、福祉の諸問題を地域社会の問題として受け止め、住民の皆様が相互理解、努力のもとに安心して暮らせる福祉コミュニティづくりによる「福祉文化創造の町」に努めてまいります。

児童の福祉につきましては、昨年、保育課を新設し多様化する子育てニーズに即した取り組みを充実・強化してまいりました。今後も、保護者が預けたい保育所、信頼される保育所をめざして保

ているにもかかわらず、結核発病の兆しが報道されていることから各種検診や集団検診での受診の呼びかけなどの対策を実施してまいります。

このような地域保健事業は、住民の健康を確認し、生活の安定を与える大切な事業とらえております。事業実施にあたりましては、「出かける行政」として、住民の居住校区まで出かけての保健事業を行っております。

しかしながら、健診内容や相談・指導内容においては、プライバシーにかかわる問題もございませぬし、衛生面・人権面を考慮すれば、保健活動において住民に十分な体制が整っているとは申せません。そこで、町総合振興計画にお



子育てサークルによる料理教室

育行政に努めてまいります。

また、母子保健医療につきましても、母子保健医療体制の一層の充実を図り、安心して子どもを産み育てることができるよう環境づくりに努めながら、総合的に推進していく所存であります。

高齢者福祉につきましては、平成十二年年度に介護保険制度が施行されますが、その整備を図りながら在宅福祉の三本柱でありますデイ・サービス事業B型C型、ホームヘルプサービス事業、ショートステイ事業の充実をより一層深めていきたいと考えております。

また、高齢者の方が、長い人生経験の中で培ってこられた知識や技能が社会に貢献でき、生きがいを持ってもらうため、長洲町シルバー人材センターの充実・支援を図ってまいりたいと考えております。

障害者福祉につきましては、一層の社会参加や自立の促進に結びつくよう、自動車免許取得等の助成事業の推進及び補装具給付事業の推進に努めてまいります。

また、知的障害者の親の会が運営する小規模作業所「ひまわり」の支援事業の推進も図っていききたいと考えております。

いて検討いたしております。「保健センター建設」についても、県の補助に対する変更方針が検討される中において、地域保健事業の拠点としての位置づけのもと、早急に検討に入らなければならぬ問題になってまいりました。

本町においては、昨年、飼犬による被害が発生しております。飼い方のマナー不足や放し飼いから野犬化するなど、住民生活に不安を与えております。本年も有明保健所と連携を取り不安解消に努めてまいります。

環境衛生につきましては、公共下水道の推進により住民の生活環境は、快適環境へ向けて進行しております。しかし、下水道未計画区域や未普及区域については、浄化槽及び一般便槽が設置されており、し尿汲み取りで対応しております。本年度も快適な生活環境を推進するため、し尿収集体制とサービスの強化を行ってまいります。

また、生活に欠くことができない飲用水については、上水道事業で推進しております。特に、六栄校区の一部で平成九年度と平成十年度に飲用検査をいたしましたところ、飲用不適の結果が示されました。このため、本年度安心して飲用していただくため

## 企業誘致と産業振興

地域において経済的基盤を確保することは、私たちが生活していく上で、不可欠なものであります。工業の振興は、町民に就業機会を提供し、地域経済を活性化させ、町に活力と活気を生み出すこととなる重要なものです。

厳しい経済情勢の中、本町立地の企業各社におかれては、必死の努力によって業績の向上に取り組んでいただいております。ことに、心から敬意を表するものでございます。今後も、できる限りの支援を行い、積極的に企業訪問、情報交換を行ってまいります。

また、名石浜工業団地の残地に企業誘致ができるよう、引き続き熊本県をはじめ関係機関と連携を密にし、企業進出を促してまいります。

次に、地場産業についてでございます。

本町における農業の状況は、農家戸数、生産基盤である経営耕地面積とも、減少し続けております。このため、農地の集団化、生産基盤の整備、地域農業を担う生産組織・認定農家・個別農家の育成支援などを促進し、営農意欲をわきたたせ、恒久的な農

の方策として、飲料水滅菌機成事業を実施いたします。

ゴミ処理対策事業につきましては、第一清掃センターの施設建替え計画を検討する中で、第二清掃センターとの広域的統合へと発展し、新たな施設整備にあたっては、五ヶ町（長洲町、岱明町、菊水町、三加和町、南関町）で広域的な事業として推進することと合意されたところであります。その中で、平成十四年度のダイオキシン規制値確保の施設づくりを検討することになりました。

今年度は、ゴミ処理施設基本計画を策定し、施設規模、処理機種設置場所等について、関係する五ヶ町において検討を重ねてまいります。

老人医療事業につきましては、高齢化の進展により、高額な医療費分担になっております。本年も保険医療の適正化を図るため、医療費点検の強化及び適正な医療受診と薬剤の投与を求めて重複診療、頻回診療者に対し訪問指導の強化に努めます。

介護保険事業につきましては、介護サービスが平成十二年四月からスタートいたします。そのための準備事務として、組織の見直しを実施し、本年十月から介護認定審査会を開始いたします。

そのために本年度も、菰屋、浦川地区土地改良事業に伴うソフト事業、腹赤地区担い手育成型圃場整備事業、緊急生産調整推進対策事業等を農業者、JA、県及び関係機関と連携を取りながら推進に努めてまいります。

本町の商業は、近隣市町へ的大型店進出、消費者ニーズの多様化で多くの購買力が町外へ流出するなど商業活力の低下が進んでいます。

町といたしましては、まちづくりの観点からワーキンググループをつくり、商業振興支援策の検討を行うとともに、商工会が実施する商業振興計画作成事業並びに産業祭的なイベントの「ながすプリンクフェスタ」を積極的に支援してまいります。

また、国の緊急経済対策事業であります。個人消費を促し、商店街など地域経済の活性化を目的とした地域振興券の交付を三月十三日開始いたします。交付対象者五千五百人、総額一億二千万円を見込んでおります。この振興券が本町商業の活性化に役立つものと信じております。観光の振興につきましては、観光協会及び夏まつり実行委員会、



的ばかり保存会の活動を引き続き支援するとともに、金魚と鯉の郷広場におけるイベント等により、観光客の誘致を図ります。

海面漁業の振興につきましては、平成九年十二月、漁協から沿岸漁業活性化構造改善事業の事業計画が示され、町に対しての支援の要望が提出されました。また、昨年七月に漁協の臨時総会において、事業実施について議決され、当事業の前段としての港湾事業による用地造成がスタートしたところであります。

このような状況の中、本年度はより本町の水産振興につながる施設整備及び事業計画となるよう、漁協、県等と連携を図りながら協議を重ねてまいりる所存であります。

内水面漁業につきましては、金魚と鯉の郷広場のオープンをきっかけにしまして、広島大学、長崎大学の水産関係教授や研究グループ、それから弥富町、大和郡山市さらには日本観賞魚振興会等との交流、情報交換が始まっており、本町も金魚・錦鯉養殖技術の向上など、活性化への波及効果が期待されているところでございます。

本年度も、組合役員と若手後継者との意見交換を重ね、今後振興策について十分協議を行い、

振興計画を作成したいと考えております。

また、金魚と鯉の郷広場の管理運営につきましては、オープンから四年を経過し、改めて原点にかえり今後の管理運営について、見直す時期に来ております。住民の皆様の見解、要望等を参考にし、検討委員会で協議を重ね、さらには県等のご指導もいただきながら見直し案を作成したいと考えております。

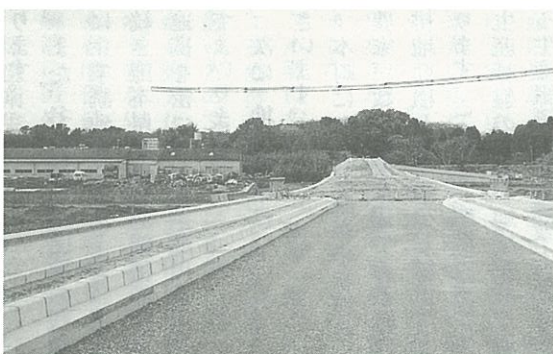


▲各種のイベントが開催されている金魚と鯉の郷広場(なんさまきてみなつせ市より)

### 生活環境の整備

道路整備につきましては、本町の動脈である都市計画道路大谷・長洲港線、都市計画道路長洲・玉名線の早期開通をめざし、本年度も引き続き整備改良を進めていく所存であります。

### 整備改良が進められる大谷・長洲港線



施設であります。現在の本町の

悲惨な交通事故から町民を守り、安全な交通環境の実現を図るため、関係機関・団体等との連携を密にし、引き続き交通安全思想の普及啓発、安全教育、施設整備等を積極的に推進してまいります。

町が現在進めております、住民参加のまちづくり・一区一創運動は災害のない、安全で安心な地域でこそ推進できるものと考えております。そのため、消防行政につきましては組織、施設整備等消防防災体制の充実強化と防災意識の高揚に、一層努めてまいります。

上水道は、生活基盤や産業基盤の整備に欠くことのできない

水需要と水道施設の状態を考えると、基本計画に基づいた水道事業の再構築が必要であり、そのための事務を進めているところであります。引き続き諸施設の整備と新たな水源の確保を最優先し、未給水地域の解消につきましては、基本計画、財政状況等も検討しながら順次進めていきたいと考えております。

下水道は、都市機能の基幹施設として、将来を見据えた清潔で快適な生活環境づくり、暮らしに欠くことのできない施設であります。平成十年度において基本計画の見直しを終え、区域拡大の変更についても国、県の

### 教育振興とスポーツ・文化の振興

町民一人ひとりが心豊かな生きがいを持ち、潤いのある生活を営んでいく上で、教育・文化の果たすべき役割は誠に重要なものがあります。

今日、次代を担うべき青少年を取り巻く問題は全国的に厳しいものがあり、その傾向は本町も例外ではありません。この問題解決のためには、学校・家庭・地域社会の三者が一体となつて取り組むことが、何より肝要であり、関係機関との連携の強化を図り、教育委員会共ども青少年の健全育成に全力を尽くしてまいりる所存であります。

学校教育につきましては、児童生徒の健全な心身の育成と学力の充実・向上を重点に捉え、個々の個性を伸ばすと同時に、いじめ・不登校問題への対応、近年の低年齢化した諸非行問題への対応につきましては、未然に防ごうと、その解決に一層の努力を傾けてまいります。

また、外国青年招致事業も継続し、国際感覚の醸成と語学力向上に努めるとともに、パソコン機器等も計画的に整備・充実を図り、情報化時代に対応できる情報化教育の推進を図ります。



▲元気に育てる長洲っ子

学校の施設整備につきましては、既存施設の維持管理等、環境整備・安全に十分な配慮をしてまいります。

生涯学習社会を迎えた今日、人々は生涯を通じた学習の機会を持ち、自らの個性と自由な選択による生活の向上を求めています。このことを踏まえ、住民のニーズに即応した生涯学習の推進と芸術文化の振興に努めてまいります。

また、青少年を取り巻く社会環境の変化とともに、青少年の心の浄化への取り組みを関係団体との連携を図りながら、積極的に推進してまいります。

スポーツ・レクリエーション活動を通じ、町民の健康と体力を増進し、心のふれあいを深め、活力ある豊かな町をめざし、生涯スポーツの振興、スポーツ団体の育成

及びスポーツエリアの整備充実に努めてまいります。

なお、本年九月には、本町において「くまもと未来国体」デモスポ行事の少年・少女サッカー大会が開催されます。町民の皆様には今後、国体開催に向けてご協力いただくことと存じます。ご支援、ご声援の程、よろしくお願い申し上げます。

ながす未来館の目的は、地域文化の振興であり、時代の流れに沿った文化情報の発信基地の施設であると考えております。この施設を住民の皆様との交流拠点施設として位置づけし、あらゆる年代が語り合え、交流をとおして心豊かなふれあいが生まれ、真心通うまちづくりができるものと思っております。

ながす未来館の運営につきましては、昨年の実績を基にして、運営委員会、自主事業鑑賞モニターの意見、感想とイベント参加者によるアンケート結果を貴重な運営資料として活用し、事業に反映させていきたいと思っております。

情報センターにつきましては地域の情報化を推進し、教育文化及び町民生活の向上並びに情報通信に関する知識の普及に努めてまいります。とりわけ教育面におきまして、二十一世紀を担う子ども達の育成を考え、学校を中

核とした取り組みをインターネットを通じて行っていききたいと考えております。

文化ホールにつきましては、昨年一年間、試行錯誤しながら自主文化事業、貸ホール事業等で住民の皆様へのイベント供給や管理運営に取り組んでまいりました。また、この施設機能を有効に活用するための情報の入手や本町の独自性を持った運営に努めました結果、大変「好評」を得ております。今後も引き続き、質の高い舞台芸術を低廉な価格で提供しながら、魅力的な自主事業の実施にも取り組んでまいります。

図書館につきましては、親しみやすく利用しやすく、憩いとやすらぎのある図書館づくりを基本にしてまいりました。また昨年は図書整備の充実を図り、貸出重視型に力を入れてきました。今後も、図書館は地域に欠かせぬ施設であり、学び楽しみ、くつろぐ場所としての機能を存分に発揮するため努力してまいりる所存であります。

### おわりに

以上、平成十一年度、施政に対する私の考えを述べさせていただきましたが、地方におきま

認可をいただいたところです。財政事情きびしい状況下ではございますが、現状に沿った新たな認可計画のもと、新拡大区域を主体として整備を進めてまいります。

本町の海の玄関であります長洲港の整備につきましては、漁業振興で申しましたとおり、沿岸漁業活性化構造改善事業の実施初年度であり、埋立て工事に対する地元住民の皆様のご意見を伺いながら、さらに、都市計画道路長洲・玉名線の整備状況との密接な関係もございまして、事業主体の県と密接に連携をとり、事業に取り組み所存であります。

浦川河川改修事業につきましては、事業主体の県とともに、関係住民への十分な説明とご意見を伺いながら推進してまいります。利用者の皆様から、強い要望がございました建浜農村公園のトイレにつきましては、本年度設備いたします。

公園、街路管理につきましては、従来の児童公園の一部を地元の方に委託したいと考えております。また、本年度、県から名石浜グリーンベルトが贈与されますが、その中の「散策・ジョギングコース」の管理体制を早急に整備いたします。

では、財政の健全化、地方分権推進に伴う行政課題、環境問題、さらには、介護保険の導入をはじめ総合的な地域福祉、医療施策等重要課題が山積しております。

一方、地方財政は、地方税収の低迷、伸び悩みなどによる巨額の財源不足が続き、借入金残高が平成十一年度末には百七十六兆円に達すると見込まれています。また、長洲町の財政状況についても、公債費の割合が高まるなど、極めて厳しく、容易ならざる事態であります。

従いまして、今後も引き続き、財政改革を徹底し、多様化、高度化する行政需要の中で、何が真に郷土の発展につながるのか、何をすれば町民の皆様にご幸福を提供できるのかを、対話をとおして、真剣に検討し、取り組むことが最も肝要であると考えています。

本町を取り巻く状況は、誠に厳しいものがありますが、住民参加によるまちづくりを積極的に推し進め、「心ふれあう豊かな町・住民が真に豊かさを実感できる長洲町」実現のため、最善を尽くす覚悟であります。

今後とも、議員各位のご指導と町民の皆様のご理解、ご協力を心からお願ひ申し上げ、私の施政方針といたします。ありがとうございます。



**金魚の館**  
**無料入館券**  
 平成11年5月1日～5日有効  
 ※この券1枚で小学生3名まで入館できます

# 第4回 火の国

## 長洲金魚まつり

金魚と鯉の郷広場においでよ

### 金魚の館の無料入館について

子どもの日にちなんで小中学生の方は、この券持参の方に限り入館は無料となります。

来る、5月2・3・4日の3日間、金魚すくい大会、フリーマーケットなど、楽しい内容がたくさん『第4回火の国長洲金魚まつり』を開催します。皆さん、お誘い合わせの上ご来場ください!!

### 3日間を通して開催する内容

『金魚の展示即売及び金魚すくい』・『金魚飼育相談室』・『軽食コーナー』・『農産物の販売』

**5/2日**

『県警音楽隊演奏』（11:30頃予定）  
 『交通安全グラウンドゴルフ』（老人会）  
 『昔の伝承遊びコーナー』（老人会）  
 『第2回なんさま来てみなっせ市』  
 時間10:00～16:00



**5/3月**

### 『第4回九州金魚すくい選手権大会』 ～優勝して全国大会へ行こう!!～

- ・時間…10:00～12:30（受付は9:30からです）
- ・内容…3分間で何匹すくうことができるかを競います。
- ・募集人数…少年の部（小学生及び中学生）先着100名  
 一般の部（高校生以上）先着100名
- ・申し込み…4月23日（金）まで。



**5/4火**

『ぜんざいの500杯無料配布サービス』（長洲町観光協会）  
 ・時間…12:00～ お早めにお越しください!!  
 『野点のコーナー』（茶道クラブ）

### 職員の定期異動のお知らせ

平成11年4月1日現在

課名	課長	審議員	課長補佐	室長	主幹	係名	係長	参事	係員	名		
総務課	宮原利興 (課付)※1 杉本再起		村上喜誠		田成初子	行政	内野清志		中村敏郎	(嶋村理子)		
						秘書	山村隆朗		嶋村理子			
						職員厚生	田成初子					
						消防交通	馬場美彦		(中村敏郎)			
財政課	猪本一男		藤本 稔			情報公開準備	(石本雄二)					
						財政	馬場昌敏		山本 晃			
						管理契約	藤本 稔		平木修輔	中山太喜		
						企画	土山和治		石本りか	濱村満成		
企画課	竹本盛光		土山和治			まちづくり推進	松本英樹		藤井 司	田成修一	松岡留美	
						情報推進室	津崎英二		田添稔久	藤末保典		
						戸籍住民	田尻 弘		東 洋子	栗原麻美	池田美紀	溝江聡子
						生活環境	平田晴輝 (調)山隈 司※2		松林智之			
住民環境課	城戸清剛		藤本敏哉 小儀隆次			年金	小儀隆次		山中信明			
						児童保育	福井秀也		関口典子			
						長洲保育所	池本妙子	原 京子	中尾喜美子	石本啓子	森田清美	浜田美由紀
						清里保育所	橋本恭子		土山尚子	浦島あけみ	濱田道子	
保育課	池上満則				徳山好子	腹赤保育所	徳山好子		加藤幸代	田上幸子	西尾壽子	坂井照子
						六栄保育所	中川特子		馬淵桂子	清水清美	深川睦美	中島美紀
						上沖洲保育所	福浦英子		大関 京	内倉エリ	磯野真弓	荒木浩子
						社会福祉	松岡紀代子		服部利恵			
福祉保健介護課	草野武人		西林昌幸			国保医療	船崎昭夫		築地明子	林田久代	田畑奈緒美	真東和美
						保健予防			吉田泰滋	山本明子	松山裕史	坂口景子
						介護保険	西林昌幸		平 靖弘	増岡弓恵		
						住民税	洲崎英一		谷口誠子	有田なるみ	永野美佳	田中 勇
税務課	松永芳郎	福浦 勲	吉村哲雄		洲崎英一	納 税	坂井哲矢		田頭清人	(有田なるみ)	前 嶋 哲 也	
						資産税	中川新市		市川 純	宮本ゆり子		
						農業振興			大石篤史	木下 健		
						土地改良	野村信一		宮辺良信	杉浦 親		
産業振興課	濱村隆喜	北原貢二				農工水産観光	久保田正治		田畑道尋	木下誠市	宮本孝規	
						維持管理	竹内正見	奥田信幸	森山繁生	長戸光博		
						土木	中島哲雄		中島良治	村本 瞳	漁長洋志	
						都市計画	竹本 茂		荒木 功			
建設課	田上秀美		松尾重勝			庶 務	宮原 浩		北野 聡	森下英治		
						建設	長田 修		徳永清隆			
						施設管理	竹下盛幸		村上ひとみ	浦島甲矢人		
						会 計	中島貴代人		宮本 洋	石本 学		
下水道課	池田一吉		西島伸育 竹下盛幸			施設管理	竹下盛幸		城戸主税	鈴木康博		
						会 計	竹本カツ子		大石絹代			
						農業委員会						
						選挙管理委員会						
監査委員事務局			石本雄二			議 事			前田 敦	川崎 徹		
						農業委員会			山内 徹		徳永アキノ	織田 薫
						選挙管理委員会			村上喜誠			
						監査委員事務局			石本雄二			
水道課	高松幸志		西辻弘道			庶 務	松本伸哉		洲崎多恵子	塩山信彦		
						工 務	西辻弘道	上田敏廣	藤末幸治	長尾恒心		
						学校教育	荒木睦子		宮本 敦			
						職業訓練	西釜秀博					
学務課	浜崎周一	迦統公明	池田信介			職業訓練	笠井淑子		西辻みち子	城戸サチ子	徳山英子	前嶋邦彦
						社会教育	児玉清一		永田淳一	松岡清香	洲崎裕則	
						社会体育			城戸 力	塩本 武	長谷川 元	
						文化ホール			堀 公助			
文化課	堀 雅史		隅倉知廣			図書館			中山マユミ			

※1…長洲町社会福祉協議会 常務理事兼事務局長

※2…有明広域行政事務組合 業務課主幹

議会事務局	土山一義				議 事			前田 敦	川崎 徹			
農業委員会								徳永アキノ	織田 薫			
選挙管理委員会												
監査委員事務局												
水道課	高松幸志		西辻弘道			庶 務	松本伸哉		洲崎多恵子	塩山信彦		
						工 務	西辻弘道	上田敏廣	藤末幸治	長尾恒心		
学務課	浜崎周一	迦統公明	池田信介			学校教育	荒木睦子		宮本 敦			
						職業訓練	西釜秀博					
						職業訓練	笠井淑子		西辻みち子	城戸サチ子	徳山英子	前嶋邦彦
						社会教育	児玉清一		永田淳一	松岡清香	洲崎裕則	
生涯学習課	高野新一	松枝三男				社会体育			城戸 力	塩本 武	長谷川 元	
						文化ホール			堀 公助			
文化課	堀 雅史		隅倉知廣			文化ホール			堀 公助			
						図書館			中山マユミ			

**保育課が役場1階に引っ越しました!** 保育課が腹赤保育所内から役場1階に移りましたので、保育所に関することは役場へご連絡ください。



## えびね展示会

- ◆と き 4月18日(日)  
午前9時～午後6時
- ◆ところ 長洲共同福祉施設
- ◆主 催 有明蘭友会

※株分けも予定していますので、多数ご来場ください。

## 春の山野草展

- ◆と き 4月17日(土)午前10時～午後6時  
4月18日(日)午前9時～午後5時
- ◆ところ 町民研修センター
- ◆主 催 長洲山草会

## 春の盆栽展

- ◆と き 4月24日(土)～25日(日)  
午前9時～午後6時
- ◆ところ 町民研修センター
- ◆主 催 長洲町翠好会

※盆栽の手入れや肥培管理などについてご相談を承ります。

## 犬の捕獲器の貸し出し

最近、飼い犬の放し飼いや捨て犬による野犬化が多くなっています。

それを原因として住民の方からの犬の被害が多く寄せられています。

町としては、有明保健所と共同体制を執り飼い犬に対し注意、指導等を行っておりますが、夕方から朝にかけて放し飼いが一向に減る状態ではありません。そこで町は犬捕獲器の貸し出しを行っております。

周囲に野犬及び放置犬の被害がある方は申し出ください。12台の捕獲器を準備して貸し出します。

なお、捕獲した犬は、有明保健所で回収し処分されます。

お問い合わせ 住民環境課

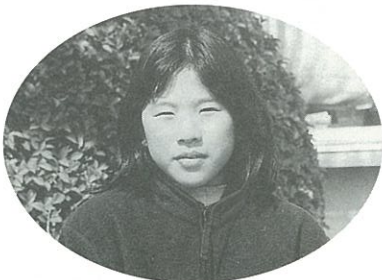
## “郷土の江戸時代にご招待”

ふるさと再発見『郷土の古文書を読む』

### 平成11年度受講者募集

- ◆と き 平成11年5月～平成12年3月  
第1・第3金曜日  
午後1時30分～3時
- ◆ところ 長洲共同福祉施設
- ◆受講料 年間3,000円(教材費とも)
- ◆講師 生涯学習アドバイザー 宮本治人氏
- ◆申込み 4月30日(金)までに(☎78-1525)まで

## 広報の題字を書きました



あゆみ  
堀 亜由美さん  
六栄小6年  
(鷲 巢)

好きな教科は体育で、部活はバスケットをしています。

将来は、バスケットの選手になりたいです。

六栄小の自慢は、大きなけやきの木があることです。

## 労働保険・社会保険 相談会の日程・場所変更

変更前 変更後  
日程 毎月第1火曜日→毎月第3火曜日  
午前10時～正午  
場所 長洲共同福祉施設  
→長洲町商工会  
2F会議室  
上村社会保険労務士事務所

「教育ながす」  
お詫びと訂正  
3月15日発行「教育ながす」  
26号の成人式関連の記事の中で成人者代表意見発表者のお名前を「東田尚」さんと記載しておりましたが正しくは「東田紀尚」さんでした。訂正してお詫び申し上げます。

## 保健衛生だより

### 7カ月健診

5月6日(木) 13:40～14:30  
町民研修センター

※対象者 平成10年8月6日～  
10月6日生まれ

持参するもの：母子手帳

※当日都合の悪い方は事前に役場に連絡ください。 福祉保健介護課



## 休日在宅医

月 日	在 宅 医	☎
4月18日	池本医院(上 町)	78-0527
25日	棚瀬医院(岱明町)	57-0103
29日	多田隈医院(向 野)	78-3011
5月2日	古庄医院(岱明町)	57-0013

※診療時間は、原則として午前9時から午後5時までです。

■発行/熊本県長洲町

■編集/企画課

☎0968(78)3111



森林資源を大切に――

この広報紙はエコマーク認定の再生紙を使用しています。